

小学校、中学校を連携させた教科書づくり

小学校で「習得」したことが、中学校で確実に「活用」できるように、領域ごとに「学習事項」と「学習用語」をまとめました。

中学校でも、生徒が明確に学習の目的を理解して、主体的に学んでいくことが求められています。そのためには、「何のために」「何を」「どのようにして」学習するのか、学習を「構造化」し、子どもたち自身が「習得」したことを自覚することが大事です。

『ひろがる言葉 小学国語』では、小学校で「習得」したことを、確実に「活用」できるように、学び方を構造化し、中学校の国語教科書と同様、領域ごとに「習得した学習事項」と「学習用語」を、「この本で学ぶこと」にわかりやすく一覧にしました。

この本で学ぶこと

学ぶこと

この本で学ぶこと

学ぶこと

6下 「この本で学ぶこと」

古典教材の連携

小学校における「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の学習が、さらに中学校での事項の学習への基盤になるように構成しました。小学校で古典に親しむ素養を身につけ、中学校へと送り出します。

平成27年度版『ひろがる言葉 小学国語』における「伝統的な言語文化」の教材

学年	「単元教材 主な内容」	「小教材」
1年生	天にのぼったおけやさん	しりとりをしよう
2年生	(わりべうた) いなばのしろつさぎ	「いろは」を知ろう 七草をおぼえよう
3年生	俳句に親しむ 芭蕉・一茶・蕪村・子規・汀女	きせつの言葉をあつめよう(春・夏) きせつの言葉をあつめよう(秋・冬)
4年生	短歌の世界 人麻呂・定家・啄木 故事成語	月のつく言葉 もみじ
5年生	「漢文」に親しむ 漢詩・論語 「古典」を楽しむ 竹取物語 平家物語・能・狂言・歌舞伎	鳥 折文を作ろう
6年生	春はあけぼの 枕草子 言葉は時代とともに 万葉集 漱石・子規・芥川	雨 回文を作ろう

その他 落語『おそろ』(4上)／狂言『附子』・万葉集・川柳
(5下付録)徒然草冒頭・おくのほそ道冒頭(6上付録)

『伝え合う言葉 中学国語』

「伝統的な言語文化」の教材

学年	本編の学習内容	付録「言葉のとびら」
1年生	落語 『三方一両損』 月と古典文学	蓬萊の玉の枝とにせの苦心談『竹取物語』
2年生	歌舞伎 『外郎売り』 古典の中の擬声語・擬態語	扇の的 『新平家物語』より
3年生	狂言 『しびり』 古典の歌、現代の歌	古典名作冒頭集

『伝え合う言葉 中学国語』

「読む」と「古典」の教材

1年生	『百年後、千年後の友人であるあなたへ』(川柳・東海道中膝栗毛)
2年生	『物語の始まり』(竹取物語) 『故事成語』
3年生	『直実の流した涙』(平家物語) 『随筆の味わい』(枕草子・徒然草) 『孔子の言葉』(論語)
4年生	『旅への思い』(おくのほそ道) 『和歌の調べ』(万葉・古今・新古今) 『春の山河』(漢詩)